

～お伊勢さんゆかりの三大詩歌人の足跡を往く～

テーマ	西行 ～ 歌枕の地 二見浦を時空を越えて旅する ～		
ルート名称	拠点施設	全行程	所要時間
「歌人 西行」追想の道	賓日館	約 5.3 km	約1時間40分
A 賓日館 → B 夫婦岩・二見興玉神社 → C 松林・清渚 → D 御塩殿神社			
E 夫婦岩表参道 → F 音無山 → A 賓日館			

西行 ー さいぎょう ー
 (1118～1190 和歌山県紀の川市竹房出身)
 院政期から鎌倉時代初期にかけての僧侶・歌人。
 父左衛門尉佐藤康清、母源清経女。
 俗名 佐藤義清(さとう のりきよ)
 法号は円位ともする。
 晩年の足掛け7年間、二見の安養山に草庵をかまえ
 「二見浦百首」を勧請した。
 「波越すと 二見の松の見えつるは 梢にかかる霞なりけり」



【 D 御塩殿神社 】

御塩浜で汲んだ海水を荒塩にして10月5日の御塩殿祭からの5日間と3月に堅塩に焼き固め、伊勢神宮に奉納する。

【 A 賓日館 】

1887年(明治20年)に神宮参拝の賓客の休憩・宿泊施設として建設され、現在は資料館・イベントなどの交流の場として活用されている。

【 B 夫婦岩・二見興玉神社 】

海中にある興玉神石の鳥居の役目で、岩にかかる大注連縄は神の世と俗界の結界の縄とされている。夏至には朝日が、冬至には満月が夫婦岩の間から昇る。

【 E 夫婦岩表参道 】

昔ながらの木造3階建ての旅館や土産店の建ち並びレトロな雰囲気のある街並みである。

【 F 音無山 】

標高約120mの山で伊勢三郎義盛の館があったといわれ「三郎山」とも呼ばれている。また、展望台・遊歩道がありハイキングコースとして親しまれ、桜の名所でもある。

【 C 松林・清渚 】

渚百選に選ばれた景勝地で、夫婦岩から西には海辺に沿って樹齢百年を越す松林が続いている。